

同窓会だより

〒510-0882 四日市市追分1丁目9番34号 Tel.059-345-0036 Fax.059-347-2989
<http://www.kaiseiob.com>



▲頼もしいガッツポーズを見せる西田選手。

全日本男子バレー期待の新星 西田有志独占インタビュー

東京五輪に向け捲土重来が期待される全日本男子バレーボールチーム。その中垣内監督をして「スーパー18歳」と言わしめる期待のエース候補が現れた。その名は西田有志。まさにこの春海星を卒業したばかりの若者である。ハードスケジュールの合間を縫って、彼の話聞くことができた。

昼前の静かな食堂に爽やかな好青年が姿を現した。西田有志さん(66回生)。二〇一八年三月に海星高校を卒業して、愛知県刈谷市を本拠地とするジェイテクトSTINGSに入社。時を同じくして中垣内祐一監督率いる全日本男子バレーボールチームに大抜擢を受けた。現在、日本バレー界期待の「新星」として注目を集める。西田さんは本誌インタビューの求めに、わずかに数日間の休暇を返上して快く応じてくれた。しかもノーギャラで。取材の少し前までフランスや中国を飛び回り、休暇の4日後には東京で全日本代表の合宿がスタート。その後も、鹿

児島、中国、フィンランド、イタリアと国内外を飛び回る多忙な日々を過ごす。全日本メンバーに選ばれてから、海外に行く機会が増えた。「今ではマイル貯まりまくりですよ。でも、最初はマイルの存在を知らなくて世界一周くらい損しました。もっと早く知っていたら、海外旅行にも行けましたよ。」そう笑って語る表情は、まだあどけ

なきが残る18歳である。今ではマイルを貯めるのも楽しみの一つだ。インタビューは海星高校食堂で行われた。聞き手は小林憲(49回生/海星高校教諭)である。西田さんとは在学中からよく話をする間柄だった。学生時代は食堂をほとんど利用しなかったという西田さん。

「いつも母の弁当だったのです。おいしかったですよ。なので、かえって食堂が新鮮で。」食堂で定食の串カツを食べながら話を進めていると、「すみません。写真撮らせてもらっていいですか?」と、生徒から声がかかる。この日、3年生は期末試験の初日であった。試験後、昼からの練習に備えるために食堂にやってきた野球部員にとって、あまりにも

有名になった「先輩」の突然の来訪には、気持ちが高揚しないわけがない。在校生や教職員から写真を求められるが、嫌な顔ひとつせず、にこやかに応じる姿はとても好印象である。数か月前まで高校生だったとは思えない落ち着いた対応であった。中学生や高校生、教師たちにとつて、西田さんはもはや「スター選手」なのである。

代はジュニアチーム「大安ビートル」で練習に励んだ。地元の大安中学校に進学した後、海星バレー部の指導者でもある大西正展先生率いる「NFオーシャンスターバレーボールクラブ」に所属した。中学時代の学校のクラブ活動では経験者が少なく、自分が同級生に教えること

「昨日も個人的にジャズドリムへ出かけてたんですけど、やっぱりバレーやいましたね。」と、はにかみつづ、プライベートな時間であっても、ファンにきちんと応対することの大切さを彼は知っている。

高校入学時点で既に立派な体格であった。入学直後のある日、体育館にいる西田さんの姿を初めて見た小林は、隣に自身が担任したバレー部の卒業生がいたこともあり、大学生が練習に来ていると勘違いしたほどである。そのときの話をしたら、西田さん自身も覚えており、「懐かしいですね」と笑い合った。



▲久しぶりに母校を訪れてくれました。

これからのリユース型社会のお手伝い
価値あるご不要品の買取はモノマニアグループへ!

リユースショップ モノマニア MONOMANIA
朝日店 Tel.059-376-2822
四日市店 Tel.059-347-4333

モノマニア MONO MANIA 2nd
Tel.059-376-2733
ホームページもご覧ください! [モノマニア](#)

リサイクルショップ **もの創庫**
Tel.059-349-5055
三幸株式会社 代表取締役社長 松平紳太郎

サンジルス 日本風味 世界の調味

本社 / 〒511-0823 桑名市明正通 1-572-1
TEL 0594-22-3333
FAX 0594-23-3333
<http://www.san-j.co.jp/>

サンジルス 醸造株式会社

西田有志選手のあゆみ

2000年 1月	いなべ市に生まれる。
2009年 6月 (小4)	全日本小学生大会に出場する。
2014年 12月 (中3)	全日本都道府県対抗中学大会で8強入りを果たす。
2015年 4月 (高1)	海星高校に入学し、バレーボール部に入る。
2016年 2月	県高校春季大会で準優勝する。
4月 (高2)	県高校新人大会で準優勝する。
5月	県高校春季大会で準優勝する。
8月	県高校総体で準優勝する。
10月	日・韓・中ジュニア交流競技会に出場する。
11月	国民体育大会に県選抜チームでスタメン出場する。
2017年 2月	海星バレーボール部キャプテンに就任する。
3月	県高校新人大会で優勝する(創部以来初の県大会優勝)。
4月 (高3)	全日本ジュニアオールスターリーグに出場する。
5月	海星高校選抜大会で準優勝する。
6月	アジアユース選手権大会で優勝する(史上初)。
7月	県高校春季大会で優勝する(創部以来初)。
10月	全国高校総体に初出場し、16強入りを果たす。優秀選手に選ばれる。
11月	国民体育大会に県選抜チームのキャプテンとして出場する。
2018年 1月	県高校選手権大会で準優勝する。
3月	V・プレミアリーグで鮮やかなデビューを果たす(史上最年少)。
4月	海星高校を卒業する。
5~6月	V・プレミアリーグのプレーオフで日本人最多得点を挙げ、オールスター戦に出場する。
7月	ジェイテックSTINGSに正式入団する。
	全日本男子バレーボールチームに抜擢される。
	FIVBバレーボールネーションズリーグ予選ラウンドに出場する。
	世界選手権チームのメンバーとして国内外の合宿に参加する。

そんな彼のスケールの大きさに目を付けない強豪校はない。もちろん、高校進学の際には全国的に有名な強豪校からの誘いもあった。そんな中でなぜ海星を選んだのか。

「もともと大西先生のところまでやってたっていうのもありますし、なぜか(強豪校に)行こうと思わなかったんですね。むしろ、男子校ってのも良かったんだと思います。ブレることがない、というかブレられないしね(笑)」



▲爽やかな笑顔で語ってくれました。

「体育祭で俺なに生懸命になるのは男子校だけだと思えますよ。だって、ぐるぐるのバット(余興種目の1つ)とか、綱引きとかで流血する奴いたし。気分悪くなったりケガとかで保健室は15分待ちだった。そんな学校ないでしょ(笑)」

「楽しそうに話す西田選手に聞き手の私も嬉しく思っているの」

続けて海星での思い出についても語ってもらった。まずは体育祭。

「体育祭で俺なに生懸命になるのは男子校だけだと思えますよ。だって、ぐるぐるのバット(余興種目の1つ)とか、綱引きとかで流血する奴いたし。気分悪くなったりケガとかで保健室は15分待ちだった。そんな学校ないでしょ(笑)」

「もしあのとき勝つていれば、今の自分はいない。全国大会に出場していれば今の勢はないと思う。そこで負けたことで、その代わりに出た大会での好結果があつて、現在に繋がっていますから。」

悔しさを乗り越えた確かな強さを感じた。

そんな西田さんも4か月前は高校生。当時と現在のの変化については、「環境はガラリと変わりました。バレー選手でありながら、まず社会人としての対応が求められること。考え方、行動全てにおいて見直さなければならぬと思います。高校生とは全く違います。」

注目されるようになり、取材を多く受けるようになったことで、西田さん自身が勉強になったこともあるという。

「言葉は選ぶようにになりました。でも、ビックマウスとか、チャレンジャーとか、チャレンジャーとして、今の気持ちを持続したいです。辞めたくない、決めたことを妥協したくないんですよ。」

理想とする選手像については、「具体的な名前こそ出てこなかったものの、謙虚さは絶対忘れたいですね。謙虚さを持ちながら、強い気持ち、闘志を出せる選手になりたいです。ただ、現状は社会人としての行動や考えを身に付けるのが第一優先ですね。それがバレーに繋がってくると思うんです。人生は選手としての時間より、社会人としての時間の方がはるかに長いんですから。」

なるほど、どこまでも前向きでありながら謙虚さも忘れない。しかもそれが建前ではなく、どんな質問にもその姿勢が一貫しているのが伝わってくる。

後輩に対しては、「友達とコミュニケーションをいっばい」

「横で話を聞いていた渡邊陽一先生も西田さんの思い出を語ってくれた。西田さんが2年生のとき、体育祭の走り高跳びにおいて3年生に交じって優勝争いを演じていたときの話である。

「だいたい先輩に優勝を譲るとか、同点優勝にしてくださいとか、そういう話が出そうなのを、最後までやらせてください」となって。それに上級生も刺激を受けてデッドヒートやったよね。そこに全く嫌味が無く、上級生も挑戦を受け、学校全体がそれを注目していた。とても盛り上がり。それが鮮明に記憶に残っているわ。」

次にクラブ活動。高校生活ラストイヤーで念願を叶え、初めてインターハイの舞台へ。その強打は見るものを驚かせ、チームも初出場ながらベスト16入りを果たした。しかし、選手権大会では惜しくも準優勝に終わる。

この結果について聞いてみた。高校バレーボール界で最も大きな全国大会「春高バレー」への切符を逃したことをさぞ悔やんでいるかと思いきや、

「もしあのとき勝つていれば、今の自分はいない。全国大会に出場していれば今の勢はないと思う。そこで負けたことで、その代わりに出た大会での好結果があつて、現在に繋がっていますから。」

悔しさを乗り越えた確かな強さを感じた。

そんな西田さんも4か月前は高校生。当時と現在のの変化については、「環境はガラリと変わりました。バレー選手でありながら、まず社会人としての対応が求められること。考え方、行動全てにおいて見直さなければならぬと思います。高校生とは全く違います。」

注目されるようになり、取材を多く受けるようになったことで、西田さん自身が勉強になったこともあるという。

「言葉は選ぶようにになりました。でも、ビックマウスとか、チャレンジャーとか、チャレンジャーとして、今の気持ちを持続したいです。辞めたくない、決めたことを妥協したくないんですよ。」

理想とする選手像については、「具体的な名前こそ出てこなかったものの、謙虚さは絶対忘れたいですね。謙虚さを持ちながら、強い気持ち、闘志を出せる選手になりたいです。ただ、現状は社会人としての行動や考えを身に付けるのが第一優先ですね。それがバレーに繋がってくると思うんです。人生は選手としての時間より、社会人としての時間の方がはるかに長いんですから。」

なるほど、どこまでも前向きでありながら謙虚さも忘れない。しかもそれが建前ではなく、どんな質問にもその姿勢が一貫しているのが伝わってくる。

後輩に対しては、「友達とコミュニケーションをいっばい」



▲思い出の海星食堂で。

「環境はガラリと変わりました。バレー選手でありながら、まず社会人としての対応が求められること。考え方、行動全てにおいて見直さなければならぬと思います。高校生とは全く違います。」

注目されるようになり、取材を多く受けるようになったことで、西田さん自身が勉強になったこともあるという。

「言葉は選ぶようにになりました。でも、ビックマウスとか、チャレンジャーとか、チャレンジャーとして、今の気持ちを持続したいです。辞めたくない、決めたことを妥協したくないんですよ。」

理想とする選手像については、「具体的な名前こそ出てこなかったものの、謙虚さは絶対忘れたいですね。謙虚さを持ちながら、強い気持ち、闘志を出せる選手になりたいです。ただ、現状は社会人としての行動や考えを身に付けるのが第一優先ですね。それがバレーに繋がってくると思うんです。人生は選手としての時間より、社会人としての時間の方がはるかに長いんですから。」

なるほど、どこまでも前向きでありながら謙虚さも忘れない。しかもそれが建前ではなく、どんな質問にもその姿勢が一貫しているのが伝わってくる。

後輩に対しては、「友達とコミュニケーションをいっばい」

「環境はガラリと変わりました。バレー選手でありながら、まず社会人としての対応が求められること。考え方、行動全てにおいて見直さなければならぬと思います。高校生とは全く違います。」

注目されるようになり、取材を多く受けるようになったことで、西田さん自身が勉強になったこともあるという。

「言葉は選ぶようにになりました。でも、ビックマウスとか、チャレンジャーとか、チャレンジャーとして、今の気持ちを持続したいです。辞めたくない、決めたことを妥協したくないんですよ。」

理想とする選手像については、「具体的な名前こそ出てこなかったものの、謙虚さは絶対忘れたいですね。謙虚さを持ちながら、強い気持ち、闘志を出せる選手になりたいです。ただ、現状は社会人としての行動や考えを身に付けるのが第一優先ですね。それがバレーに繋がってくると思うんです。人生は選手としての時間より、社会人としての時間の方がはるかに長いんですから。」

なるほど、どこまでも前向きでありながら謙虚さも忘れない。しかもそれが建前ではなく、どんな質問にもその姿勢が一貫しているのが伝わってくる。

後輩に対しては、「友達とコミュニケーションをいっばい」

同級生
清水大輝さん

高校当時、ユージは常にバレーのことを考えて生きていた。バレーのことがあったら、学校終わりにいきなり僕の家に来た。

「いま」と帰ってくる気まぐれなやつでした。すごい選手に成長し、注目さもあるかと思いましたが、体には気がついて日本のバレーを盛り上げてくれるらと思いません！」

バレー部顧問
林三奈夫 教諭

一言でいえば、西田有志という人間は「向上心の塊」です。とにかく強い人、上手い人、やりたい、プレーしたいという気持ち強い。常に挑んでいきたいというチャレンジャー精神が旺盛です。「強いチームで勝ちたい」と。それが自分自身の向上にも繋がるので、今日のこの活躍という結果に表れているの、でしょう。有言、それを実践している選手です。」

バレー部部長
藤田勝成 教諭

小学校入学前からバレーボールと戯れていたゆうじを知っている者としては「成るべくしてなった」ってことかな！

とってほしいですね。今、携帯ばかり触ってる子が多いじゃないですか。僕自身も多少はやってましたけど、休み時間はいっぱい喋って貴重な3年間を有意義なものにしてほしいです。人との時間はそのときだけのものですか。」

海星同窓生に対しては、「とりあえず今も、これからもこれから」と。

も思いつきバレーをしたいです。海星高校という名前に恥じないように頑張りたいです。」

10代の若者からかぬスケールの大きさ。まだまだ可能性は無尽大である。今後のバレー界を牽引し、再来年の東京オリンピックでの活躍が待ち遠しい。今後の西田さんの更なる活躍に期待したい。

社会福祉法人フジ福祉会

フジ保育園

三重県四日市市東坂部町150-4

TEL: (059) 331-4128

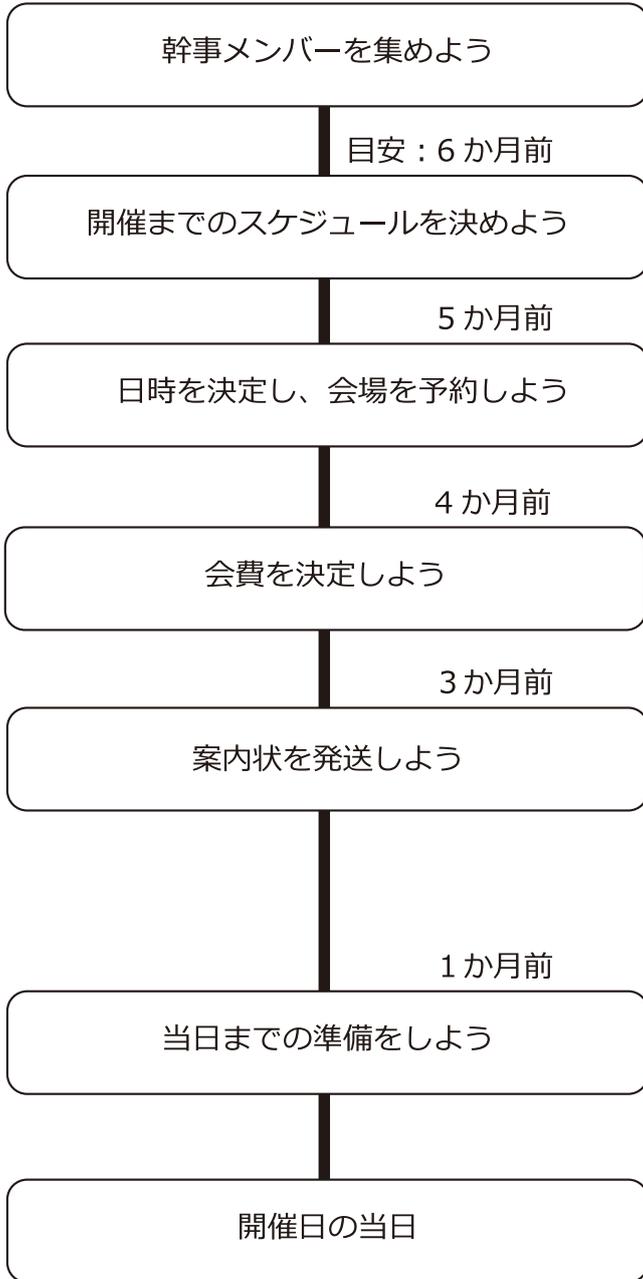
株式会社 **ニューポート**

TEL: 059-345-1401

給食、レストラン部門、
弁当・受託部門(社員食堂、厚生施設)

同窓会公式ウェブサイトでは当インタビュー記事をカラー写真入りで公開しています。
<http://www.kaiseiob.com>

サルでもわかる! 同窓会の開き方



一人だけでは準備、運営はもちろん、やる気的な意味でもきついで、仲の良かった友人や、交友関係の広い友人と一緒に計画しましょう。

開催に向けて、日時、会場や会費を決める日、案内状発送日、出欠締切日、幹事での最終打合せ日など具体的なスケジュールを決めましょう。

日時、会場を決定をしましょう。ネット上の会場写真は単なる「イメージ」で、実物と違っていてもあります。できれば会場は下見して決めるとよいでしょう。

一般的な会費相場は、6,000円～10,000円。飲食代、会場使用料、案内状の印刷・発送費、備品代、人数が少ない時やドタキャンなどを想定し、「赤字」にならないように決めましょう。

幹事氏名や、卒業年、開催日時、場所、会費、出欠締切日などを記載しましょう。夏休みの宿題のようにギリギリにならないと返信しない人もいるため、締切は早めに設定しておくとういでしょう。同窓会本部では管理している名簿の最新情報に基づいた「宛先ラベルシール」の提供を行っています。詳しくはお問い合わせください。

出席者数を会場に連絡しましょう。受付や司会、会計といった担当を決めましょう。また当日の会場のレイアウトや進行のシナリオ、盛り上げるためのネタに応じて必要なものを準備しておきましょう。

幹事メンバーで最終打ち合わせをしましょう。歓談中は、スナップ写真やクラスごとの写真、全体の集合写真などの写真を撮りましょう。

みなさん、同窓会は開催していませんか？
「開催したいけど、やり方が分からない...」そんなあなたのために、同窓会の開き方を簡単に紹介します。今から準備を始めればお正月に間に合いますよ！

今回は、企画立ち上げから開催当日までの流れをごく簡単にご紹介しました。「次号」では、会場選びや会費の設定のコツなどもご紹介できればと思います。

三重で結婚される方を応援

ブライダル検索三重

bridal-kensaku.com

株式会社ベース

四日市市朝日町 3 の 2
プラザ 1986・3F
☎<059>355-3939

急募

- ・グラフィックデザイナー
- ・Webデザイナー
- ・営業社員

SAFETY・SPEEDY・SINCERITY

朝日土木株式会社

〒510-0033 三重県四日市市川原町 32 番 1 号
Tel.<059>331-1146 (代)

菰野出張所・鈴鹿出張所・
伊勢出張所・三重リサイクルセンター

公式ウェブサイトやFacebookでも開催告知や開催報告を公開させていただきます。ご一報ください!
<http://www.kaiseiob.com>

今さら聞けない 海星Q&Aスペシャル

あの机椅子のごともろもろ(第1回)

モノを乗せるための道具「机」。尻を乗せるための道具「椅子」。その2つが1つになった特殊な道具がこの世には存在する。もちろん「机に座る」「不行儀のための新たな道具などではない。多くの海星OBにとつておなじみのアレ。机と椅子がつながったアレのことである。謎多きあの「机椅子」について、本誌は総力取材を敢行することにした。



▲20世紀末の机椅子。教室に冷房はなかった。

つながった机と椅子—二〇〇二年以前に入學した同窓生にとつては、懐かしいワードではないだろうか。

金属の枠で縁取られた、少し傾斜のある机。それは真ん中のくぼんだ木製の椅子と、右片側が鉄パイプで連結されており、よつて、左側からしか起居ができないつくりとなつてた。

入學して初めて、それを目の当たりにしたときのカルチャーショックは、各教室に十字架と宗教画が掲示されていたこと以上の衝撃ではなかっただろうか。にもかかわらず—3年間ないし6年間の学校生活のなかで当たり前になり

かですごい前になりすぎたのか—「スクワット」や「トレーニング」、「頭髮検査」など、数ある「海星名物」の中に埋もれてしまひ、思い出しにくい語られることも少ないように感じる。

今回、調査をするにあたり、あらためて同窓生に、あの机と椅子にまつわるエピソードを聞いてみた。はたして、「友人と喧嘩をした際に鉄パイプの連結部分に足がはまつて身動きが取れなくなり、そのままボコボコにされた」、「授業中にゲームが見つかつて殴られた生徒が机椅子ごと倒れた(大昔の話)」

「連結部に、食堂のパンのシールをやたらと貼っている奴がいた」など、いかにも男子校らしい、やんちゃな話が聞こえてきた。中には「学年が上がつて教室が変わるときは、自分好みの机を早めに確保しておきました」といふ、優等生な意見も。「縁に金属の腕いやつを寝ても腕に痕がつかないの(笑)」、「ブルータス、お前もか。

海星の教室から、あのつながった机と椅子が消え、「離れている」机と椅子になつて、今年ではや16年。一体、あの机と椅子はどこから来たのか、何者なのか、どこへ行ったのか、その謎に迫つてみようと思ふ。

「どこから来たのか—つまり、どのような経緯で導入されたのか。自らも海星の卒業生で、永く教鞭をとられた、岩間先生にお話を伺つた。

「ガタガタせんよ」に、ということだと思ふ。

「いや、それは関係ないと思ひますよ」岩間先生は笑いながら否定された。「建物に傷つくつて言うてね」創立当初から、生徒に掃除はさせない方針だったようだ。

「僕らの頃もつながつてはいたけど、木やつたと思ひます。」2回生の佐々木木夫さんから、新しい証言を得ることができた。

「何しろ終戦直後ですからね。鉄パイプなんてものはそうそう手に入らなかつたはずから。」なるほど、日本中の鉄が零戦や軍艦に消えてしまつて間もない頃、鉄屑集めが子どもたちのよい小遣い稼ぎになつていた頃のことである。そのとおりかも知れない。

ならば、どの時点で「あの」机椅子になつたのだろうか。「昔の『星塔』に、何か情報が載つているかも」との助言をいただき、さっそく母校を訪ねた。15年ぶりである。まさか

こんな理由で母校を再訪することになろうとは。会議室に通されると、ずらりと並んだ『星塔』バックナンバーが鎮座まじまじしており、あらためて海星の歴史の長さを感じさせた。これだけの量の『星塔』から情報を取り出していくには、それなりの時間を要するため、事務長のご厚意で帯出を許可していただき、第一号(一九六〇年7月1日発行)から、机椅子の入れ替えに関する記事がある第二一九号までの「学園ニュース(ある時期まで「学園ニュース」という表記だった)を中心に、丹念に読み進めていく。『星塔』誌上で、はじめてその姿を確認できたのは、第九号(一九六三年2月28日発行)に掲載された「入試風景」とキャプションがつけられた写真であった。また、第十七号や第三十一号に

は、「公開授業」の様子が収められているが、当時は教室ではなく、おそらくキャパシティの関係から、体育館や武道場を使って行われていたようである。そして、そこに写る机と椅子は、なんと「あの」机と椅子ではない。木製で、離れているように見えるのである。「よそいき」の机椅子が存在していたという新事実を得て、更に時代を追っていく。

それにしても、昔の『星塔』は面白い。生徒と教師が和気藟々と語り合う「ナリ、新任の頃の恩師の写真(後の有名人(恩師含む)の在学中の作文と、文体からもその当時の空気が感じられる興味深いものばかり。『姉妹校』のセントヨセフや、当時新設のメリノールの女子学生たちと相互に学校訪問し、歓談した記事などはとても微笑ましいものであった。しかし—

おいしさ・たのしさ・いいもの・いつでも
株式会社きゅうせい
☎ 059(347)8500

良き食の品を伝えたい。
松坂牛協会会員指定第 425 号 426 号

鳥金
■本店 四日市市新町1の10 Tel.059-352-4644
■松本店 四日市市松本2丁目6-26 Tel.059-352-2983
■中部近鉄百貨店 四日市店 Tel.059-353-5151

「机椅子」の謎に関する情報や面白エピソードをお寄せください。お待ちしております。
<http://www.kaiseiob.com>



▲創刊58年目の「星塔」。左第129号、右第9号。

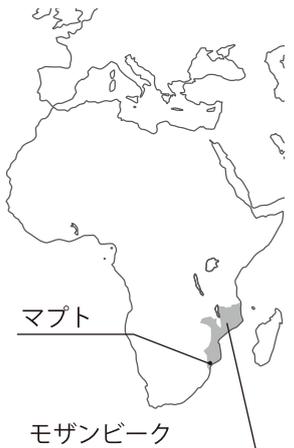
「肝心の「机椅子」の情報がいっこうに出ない。聞いていたとおり、昔の『星塔』にはかなり詳細な記載がなされていた。当時の財政的な動きから、〇〇先生が誰とどこで結婚式を挙げましたという情報まで。だが、「机椅子を購入しました」というような記事はどこにも見当たらない。あれだけ印象的な見出しのシロモノなのに、新入生の作文とかに記述があってもおかしくないはずだ。こんなに苦しむ羽目になるくらいならあの頃自分が書いておけばよかったなどと半ば絶望しながら頁をめくっているとふと目にとまったのは第二〇二号(一九九四年七月30日発行)増井宣之先生の新任挨拶の記事であった。「海星高校には入試の時に来たことがあるんですが、その時思ったのは机と椅子がひとつになっている事でした」

「結局『星塔』第三号から第二十九号の誌面を通じて確認できる机椅子情報は、第九号の写真と、増井先生の三言、そして海星から姿を消すことを報じた搬出に関する記事、の3件のみであった。

確かに増井先生は、最初の授業でそのことに言及していた。先生が最初と最後の授業で披露してくださった「TRUTH」とともに懐かしく思いながら、調査の壁にぶち当たったことを噛みしめ、であればとありあえず先に「どこへ行ったのか」という謎の解決に取り組むことにした。

「どこへ行ったのか」については、机と椅子が入れ替わった二〇〇二年十一月27日発行の『星塔』(第二十九号)に搬出に関する詳細な様子が記されている。それによると、同年7月26日に生徒会や環境ボランティア部、野球部の協力でコンテナに積み込まれ、カリタスジャパンを通じてモザンビークの首都マプトにある、大司教区立小学校に寄贈されたとのこと。同小学校はマプト市内のスラム街にあり、25年間の共産主義政権と、17年間の内戦で荒廃し

ていたことも併せて記載されていた。ならば、モザンビークに寄附されたという情報を、もう少し掘り下げてみると、カリタスジャパンへ電話取材を敢行した。



「あの、いきなり変な電話で申し訳ないのですが」と少し萎縮しながら事情を話した私(仮名)は、おそろくないと思いません。ええ?!

「カリタスジャパンが行っている寄付は、金銭的なものだけでなく、物品を斡旋するということはやっていないんです。じゃあ、あの記事は一体何だったのか。まさかの虚偽記載?!」

「でも、学校の記録に『モザンビークの大司教区立小学校に寄附された』と」と食い下がる私

に、もしかしたら：と、苺田さん(仮名)は続ける。「ウチは直接仲介していないけれど、こういう機関がありま

「つなぐた机と椅子」とか「一体型机椅子」とか、さっきから気まぐれにいろいろ呼び方をしているが、そもそもアイツに正式名称はないのだから、徒然なるままにネットに向かいそこはかとなく検索している」と、思いがけず「西の超有名進学校

の机と椅子がつながって面白」というブログを発見した。「関西の超有名進学校」と言えば我々が海星高等学校に決まっている。あやしうこそものぐるほしくなって、すぐさまそのブログを読み進めた。

「小学校がそのタイプの机椅子だった」という声や、「メリノールでも見たことがある」というなぜか字面だけで胸躍る情報も得た。さらには「スペインのナバール州で同じものを見かけた」という、「知的国際人」の養成を目指す海星の卒業生ならでは情報も得ることができた。「スペイン」としておきのスペイン」を例に示すまでもなく、海星にとって特別馴染み深い国であることは今更ら言うまでもない。

調査を進めれば、もしかしたら謎の核心に迫る情報が得られるかもしれない。謎が謎を呼ぶ「机椅子」同窓会広報委員会では引き続き、この件について調査を行っていく。とはいえ、広報委員会に潤沢な調査資金があるわけではない。モザンビークのマプト、あるいはスペインのナバールへ、自腹調査を敢行してくれる調査員を募集したい。意欲、勇気、そして資金力。三拍子揃ったキミが名乗り出してくれることを待っている。

風流どんそば料理
うたあんどん
歌行灯

四日市でご愛顧44年・桑名では141年
<http://www.utaandon.co.jp/>

近鉄店 (近鉄百貨店9F)
 四日市市諏訪栄町 7-34 tel. 059-351-1153

本店 (桑名駅より三交バス5分または徒歩20分)
 桑名市江戸町 10番地 tel. 0594-22-1118

桑名駅前店 (桑名駅より徒歩5分)
 桑名市中央町 1-31-1 tel. 0594-21-1117

大山田店 (クオレ大山田ガーデン)
 桑名市松ノ木 3-7-1 tel. 0594-31-1116

恩師をたずねて第10回 北村皓倫先生

仰げば尊し我が師の恩。引退された恩師を訪ねて近況をうかがう好評企画の第10弾！今回お目にかかったのは、愛のこもった毒舌が懐かしい北村皓倫先生です。

川島団地のご自宅に伺ったのは午後4時。夕方と言っている時間帯でしたが、奇しくもこの日は「夏至」。外はまだ真昼間のような明るさでした。

玄関の棚にはたくさんのお菓子。そのうち「お菓子を持ってきてくださいました。色鮮やかなフルーツとプリンに乗った豪華なスイーツ。華やかな歓迎に恐縮している」と自分分が食べたから選んだんだと思いきや「と、笑いながら奥様、先生もそれを否定なさいません。深刺と若々しく、お元氣そうに見える先生ですが、それなりの年齢になれたら健康上の問題が何も無いのは稀なこと。実際のところどうなのか聞いてみると、

「何にも考えん。考えたらあかん。」北村先生はそう即答して笑わせました。

「医者には1か月に1回ずつ検診に行つとるけどな。血糖値がちよつと高いでさ。」
高血糖に豪華なスイーツ。「一番アカンやないですか」と思わず突つ込むと、「だから、考えたらいかんのやて。」と北村先生。冗談めかしてそうおっしゃいますが、これも1つの真理のような気がします。健康で長生きすることは幸せなことですが、食べたいものを我慢して健康でいることが果たして本当の幸せなことなのか。考えさせられます。

「野球部はな、練習となんか見に行つてよ。」
今でこそどの学校でも多数のクラブが活動し、ほぼ全ての先生が何らかのクラブ顧問を務めていらっしゃる。しかしまだクラブ活動が盛んでなかった当時、北村先生はどのクラブ顧問にも就いておられなかったといえます。まだ20代だった北村先生。何しろ野球がお好きでしたから、暇を見つけてはグラウンドへ出ておられたそうです。それが校長先生の目にとまったので、30歳の頃、副部長に就任することになりました。

「強いチームじゃなかったけどな。田舎のチームやったから。」
中学から野球部で活躍していた北村先生は、長島高校でも迷わず野球部に入つたそうです。ただしそれは軟式野球部でした。その頃の高校野球はまだ軟式が主流で、長島をはじめ、熊野や尾鷲など東紀州地方にも軟式野球の強い選手がたくさんいたといえます。そんな中、高校3年夏の大会には5番アーストで先発出場されたそうですから、東紀州屈指の有力士の二人であったのではありません。大学でも準硬式野球部に所属しておられました。

監督が急遽退任することとなりました。当然、関係者は大騒ぎ。たまたま実家に帰っていた北村先生も「すぐ戻れ」と学校に呼び戻され、夜の校長室に待ち受けた校長とスポーツ後援会長は声を揃えて、北村先生に部長兼任監督への就任を要請しました。当然、北村先生も大いに驚かれましたが、秋の大会を問もなく控えており、新たな候補者を外部から招聘する余裕もなく、北村先生はやるべき要請を受諾されました。

結局フタを開けてみれば秋の大会は見事優勝。その時のメンバーの一人が後に海星野球部を導くこととなる湯浅和也先生でした。秋の大会を終えた北村先生は、無敗のまま監督を外指指導者に譲り、部長職に専念。それから4年おきに計3回、野球部を甲子園に導かれました。



▲ますますお元氣な北村先生。

比較的に若い卒業生にとっては毎朝校門で出迎える「生徒部長」の印象も強いです。主に身だしなみや生活態度、風紀の側面から生徒たちと関わる「生徒指導部」。ときには生徒の問題行動や処分を扱うこともあるハードな役割です。部長職を引き受けたことになりませんが、意外にもそれまで「生徒指導部」に配属されたことは一度もなかったそうです。ハードな役割だけに「3年だけ」という限定で任された生指部長職。結局4年間担当することになりました。

「生徒指導部」に配属されたことは一度もなかったそうです。ハードな役割だけに「3年だけ」という限定で任された生指部長職。結局4年間担当することになりました。

 幼児～高3 **翔英学院**
学院本本校 三重県桑名市中央町 1-12
TEL.0594-23-2313(代)
<http://www.exceed1.co.jp/>

長島いちご生産販売
のらくら農園
0594(42)3925
<http://www.norakura-farm.com/>

TransRingGroup
TRG 池畑運送株式会社
四日市市新正 3 丁目 12 番 3 号 Tel.059-353-7566

陶器木箱・食品木箱・モミ木箱・焼杉・製造販売
MSK 水谷製函株式会社
四日市市別名 5-4-37 059(331)6550



▲左から北村先生、小林一憲(49回生)

「便利屋やからな。」と北村先生。何事にも前向きに取り組み誠実なお人柄とハードな役割に堪えられる心身のタフさを持ち合わせている。つしやるのが評価されていたからこそ、「緊急登板」を求められたのでしよう。

4年間。毎朝校門に立ち、登校して来る生徒たちを出迎えました。多くの生徒たちにとっては「温かなお出迎え」、後ろめたいところのある生徒にとつては「門番に立ちほだかる仁王」のように見えたことでしょう。毎日顔を合わせ、挨拶を交わすことが生徒たちにもたらした好影響ははかりしれません。

長い教員生活の中で印象に残る「いい思い出は何かと尋ねると、意外にも、教え子たちとのエピソードではなく、同僚である先生方との協力について話をしてくださった。「学年主任の時は担任集団に恵まれたね。みんな協力的で

学年が一つになった。」

たくさんの生徒と関わった北村先生。生徒たちとの良い思い出もたくさんあるに違いありません。それでも何かを語れば、何を語らないことになりませう。そんな思いが、「何か」を語ることをさせないのでしょうか。

「志賀高原の合宿でも、みんなが死になつてやつたもん。」

生徒たちにとつても思い出深い行事であろう「志賀高原学年合宿」。高校1年生の夏の恒例行事でした。登山やファイヤーストームを伴う3泊4日の一大イベント。手作りの行事だけに先生方の苦労も大きかったに違いありません。

「学校では見られん、生徒の本当の姿を見られた。」一人一人の本当の個性が、あんなに良かつたと思つた。非日常の場所で、長い時間をかけ、心

身ともにハードな体験をするイベントであつたからこそ、生徒たちは本当の姿を見せたのでしよう。先生方も彼らとじっくり向き合うことができたのでしよう。また、そういう得難い機会を作り出す1つの目標に向かって先生方が力を合わせたからこそ、北村先生は印象深く記憶されているのでしよう。

「あれは続けてほしかったな。復活させてほしい。」

北村先生はそうつぶやかれました。海星が「志賀高原合宿」を始めた頃は、まだ「アウトドア」という言葉も今のように使われていなかつた時代。その後、あちこちの学校が似たことをやり始め、野外活動は珍しくなくなりりましたが、「授業時間の確保」が叫ばれるようになつて今は逆に減りつつあるようです。

「パソコン眺めとるだけじゃあかんのや。」

机の前で頭だけを覗き、インターネットに答えを求め、そんなやり方でなく、全身全霊で生徒と向き合い、生徒の成長に寄り添う。北村先生は、そんなふうに教師の仕事を全うされました。しかし、考えてみれば、

教師の仕事に限らず、仕事というものは本来そういうもの、現場で対象と向き合つて自ら答えを探し出す、そういうべきものではないのでしようか。

「僕今でも行つたらんや。夏の山へ。」

なんと、在職から「合宿」以外でも毎年志賀高原を訪れていらつしやること。残念ながら、海星の定宿「レクホテル」は、塾の合宿ですつと押さえられてるらしく、お泊まりは他の小さな宿で、そこを拠点にハイキングなどを楽しみ、夏山を満喫して気分転換をされるそうです。

「去年は慰霊の登山やつたんや。」

聞けば、ご近所にお住まいだった海星OBのお一人が最近病気でなくなつたそうで、その方の写真を親御さんからお借りして、それを背負つて山を歩かれたとおつしやいます。

「亡くなつても、何にもできへんやろ。お参りするぐらいのもんでな。」

そんな山歩きを楽しむためという目的もあつてウォーキングが趣味の1つに。新聞を読んだりしてゆつくり午前を過ごし、午後から出かけるそうです。

「神前のほうへ行つてさ、車を置いて田んぼ道をずーっと歩くんや。」

「ヒマ人みたいな思われるのがイヤだからと近所を歩くことはせず、わざわざ車で出かけて歩いて、そのあたりを歩くのだそうです。ウォーキングの時間が取れるのですから「ヒマ人」であることは自他ともに認めるところなわけですが、家の周りを歩きたくないという気持ちは分からないでもありません。

かといつて「人嫌いなわけではない」北村先生。ウォーキングの途中に練り返される「おしやべり」も楽しめる1つであるようです。

「東名阪の下ずつと歩いて、いろんな人と会つて話して。」

所懸命はなかなか歩けんのや、いろんな話ばつかりしとつて、畑仕事やつとる人とかがな。」

楽しんで話されるので「先生が手を止めてさせているんじや？」と突っ込んでみると、

「僕が行くとき、耕耘機乗つとる人が降りてくるんや。田んぼの中におつてもさ、道まで出てくるの。話好きなんや、あの人の。」

話好きでつし、楽しいひとときと違って、

「途中で牛舎があつて、その横に石垣があつてな。ちゃんとな座れるようになつとるんやわ。ありがたいんや、ほんとに。いつも野菜くれる人がおつたりな。ちよつと歩くと、またそこでも立ち話。楽しい。」

たいてい昼食後にしかけていって、家に帰つてくるのは夕方になるとのこと。

「夕方帰つてきて、風呂入つてビール飲んで。毎日飲んでるな。」

なんとも幸せな日常です。

「たまに誘つてもらつて「年寄り会」へ出て行つて。」

仲の良いOBの先生方が時々集まつてお酒を楽しんでいらつしやるのだそう。長くともに働いた先生方が集まるのですから、思い出話に花が咲くことは間違いありません。それはきつと楽しい時間でしょう。

聞けばメンバーの顔ぶれもすごい魅力的。ご一緒させてもらいたいくらいです。



▲ご近所のおしゃれなカフェで。

[機械部品加工]

(有)常磐精機

☎ 059-352-4547

中部住研株式会社

■本社	四日市市青葉町780-4	☎059-352-1220
■ときわ営業所	四日市市ときわ4丁目4-7	☎059-340-3370
■阿倉川営業所	四日市市西阿倉川1673-1	☎059-337-8661

旅のことなら・・・ (株)トラベラックス

三重県知事登録旅行業第3-233号

〒510-0833 三重県四日市市中川原 3-6-13

TEL:059-356-3100 FAX:059-356-3105

www.travelux.jp E-mail:info@travelux.jp

株式会社 桑名総合警備保障

〒511-0834 三重県桑名市大字大福字宮東 356

TEL (0594) 25-1128 (代) FAX (0594) 24-8823



▲都ホテル「伊勢の間」で開催されました。

総会報告

平成29年10月21日に四日市都ホテルで2年に1度の総会が開催されました。多数のみなさんにご出席いただき、前年度会計報告や新役員の出選など全ての議事が滞りなく進行しました。記念講演では、映画監督・伊藤有紀氏(46回生)に「海星の映画青年が監督になるまで」と題してお話しいただき、映画業界の厳しさや夢を語っていただましました。なお、総会に先だって伊藤監督の最新ドキュメンタリー作品「人情噺の福団治」の上映会も開催し、好評を得ました。懇親会の会場ではあちこちで仲間や恩師との再会に盛り上がり、近況報告思い出話に花を咲かせる場面が見られました。

同窓会懇親ゴルフコンペ

第15回・第16回同窓会懇親ゴルフコンペの成績は次のとおりでした(敬称略)。第15回(11月16日開催) ①駒田久人(32回生) ②山崎博(31回生) ③坂田英一(19回生) 第16回(3月15日開催) ①片野田信二(28回生) ②伊木英次(22回生) ③山崎博(31回生) 藤盛時雄さん(16回生)がホールインワンを達成されました。ゴルフを始めた時以来加入していたホールインワン保険を解約した途端の達成だったとのこと。改めて契約し直ししました。と、藤盛さん。2度目の達成に意欲を示しているらしやいました。

海星祭

今年度の海星祭は11月18日。

毎年大好評いただいたおめでとうございます。同窓会バザー&模擬店は今年も開催決定!バザー商品の充実度は同窓会員の皆さまからご提供いただく品々によって決まります。ご家庭の押し入れや仕事場の倉庫に眠る贈答品や、未使用品であれば何でも構いません。どしどしご提供ください。また、当日のスタッフ

第17回懇親ゴルフコンペを以下のとおり開催します。みなさんふるってご参加ください。

開催日 平成30年11月22日(木) 開催場所 三鈴カントリー倶楽部(鈴鹿市小杜町七六七) 東名阪鈴鹿インターより車で4分 プレー代 二、〇〇〇円(税別) キヤディ付乗用カート プレー代・昼食券・パーティードリンク付き) 会費 三、〇〇〇円(税別) (賞品代・パーティ料理代) お問い合わせ・お申し込み コンペ実行委員会・水谷 メールアドレス: info@nizutaniseikan.com FAX: 059(333)2406

星の窓基金

中間報告

「星の窓基金」は経済的困難に直面する在校生を支援する目的で設立された、会員の篤志による同窓会独自の教育奨学基金です。昨年度は別掲会計報告の通り運用いたしました。基金の趣旨にご賛同いただき、更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。 (同窓会長・山下邦男 / 星の窓基金担当委員 長・福井茂人) ■募資金金額 1口、一、〇〇〇円 (何口でも結構です) ■払込方法 郵便局備付用紙にてご送金ください ■払込口座 口座番号 008904135244 口座名称 海星高等学校同窓会

編集後記

あの「机椅子のこと」、北村先生の思い出。幅広い世代に共通の面白い話題です。西田選手活躍も同窓生みんなでもアツク応援したいところ。同窓生が集まると盛り上がるにはまず「同窓会」を開かなければ!「マニュアル」を使えばカンタンです。年末年始の開催を目指してぜひとも! (広報委員会・上田周平)

海星高等学校同窓会 会計報告

平成28年9月1日~平成29年8月31日迄

海星高等学校同窓会「星の窓基金」特別会計報告

平成28年9月1日~平成29年8月31日迄

Table with 3 columns: 科目, 金額, 摘要. Includes items like 繰越金, 入会金, 賛助金, etc.

Table with 3 columns: 科目, 金額, 摘要. Includes items like 会議費, 賛助金, 通信関係費, etc.

Table with 3 columns: 科目, 金額. Includes items like 繰越金, 個人寄付, 海星祭/バザー等, etc.

Table with 3 columns: 科目, 金額. Includes items like 運用貸付, 郵便代, 事務経費, etc.

小林秀輔税理士事務所 TEL: (059)353-3232 MAIL: 00105@k-kaikai.jp

不動産に関するご相談など、お気軽にお申し付けください。株式会社 中村不動産 宅地建物取引業免許 三重県知事(10)第1221号

おじいちゃん、お父さん、ぼく。わが家は3世代そろって海星です! そんなご家族を大募集! 自薦他薦は問いません。至急ご連絡ください! (電話:070-5407-3925 / 担当:上田)